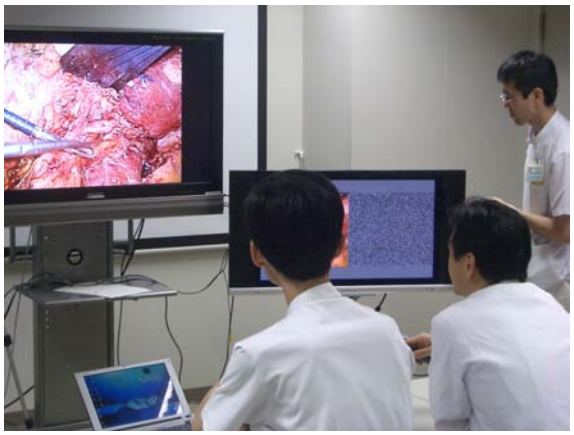
3) 写真レポート

#97　腹腔鏡下肝臓切除術ライブデモンストレーション　2007.5.8

【イベント名】 腹腔鏡下肝臓切除術ライブデモンストレーション 【期日】　2007.5.8 【会場】 九州大学病院 ― ソウル大学ブンダン病院-岩手医科大学（岩手）– 藤元早鈴病院（宮崎）	【概要】 腹腔鏡下肝左葉切除術のライブデモンストレーションが、韓国のソウル大学ブンダン病院から日本の３つの病院へ配信された。いずれの地点も少ない人数のため、気軽な感じでディスカッションが行われた。
 九州大学の肝胆膵内視鏡手術チーフの中村准教授ほか。 撮影場所：九州大学病院	 4 地点の様子がモニター上に映し出されている。 撮影場所：九州大学病院
 手術室から日本の参加者へ挨拶する Han HS 副教授 撮影場所：ソウル大学ブンダン病院	 ブンダン病院での手術中の様子 撮影場所：ソウル大学ブンダン病院
 九州大学病院のカンファレンスルームの様子 撮影場所：九州大学病院	 韓国側でセットアップされた機器類 撮影場所：ソウル大学ブンダン病院

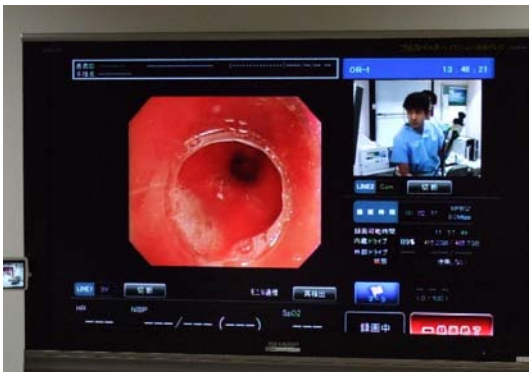
#98　第 4 回 京都第 2 赤十字病院消化器内視鏡ライブセミナー　2007.6.7

【イベント名】第4回 京都第2赤十字病院
消化器内視鏡ライブセミナー

【期日】　2007.6.7

【会場】　京都第2赤十字病院
- 九州大学病院

【概要】
第4回消化器内視鏡ライブセミナーの様子が、京都第2赤十字病院から初めてDVTSを使って中継された。京都側では内視鏡画像や術者の映像と共に心拍数や血圧などのバイタルサインを同時に送信できる器械を使用し、興味深い企画となった。



モニターには内視鏡画像が大きく映し出されている。

撮影場所：九州大学病院

右より清水准教授、矢田助教および吉永医師

撮影場所：九州大学病院

ライブ中継が行われた京都側のメイン会場

撮影場所：京都第2赤十字病院

モニターには術者の様子が大きく映し出されている。

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院側の会場の様子

撮影場所：九州大学病院

画像配信中に機器を調整する寅田技師

撮影場所：九州大学病院

#99　上海ライブ：大腸・肛門内視鏡手術　2007.6.21

【イベント名】上海ライブ：大腸・肛門内視鏡手術

【期日】　2007.6.21

【会場】上海交通大学第一人民病院- 九州大学病院
-岩手医科大学- 台北栄民総病院

【概要】
中国医学会後援の上海内視鏡手術シンポジウムへライブ配信を行った。手術は岩手医科大学（Dr 大塚）より中継され、九大と台北栄民総病院を接続した。岩手医科大学からの大腸手術の中継および台北総病院への大腸手術の配信は共に初めてであった。

4地点の映像がモニターに映し出される。

撮影場所：九州大学病院

シンポジウム会場におけるテレカンファレンス風景

撮影場所：上海交通大学第一人民病院

九州大学病院の会場の様子。

撮影場所：九州大学病院

シンポジウムの開会で挨拶するQiu教授。

撮影場所：上海交通大学第一人民病院

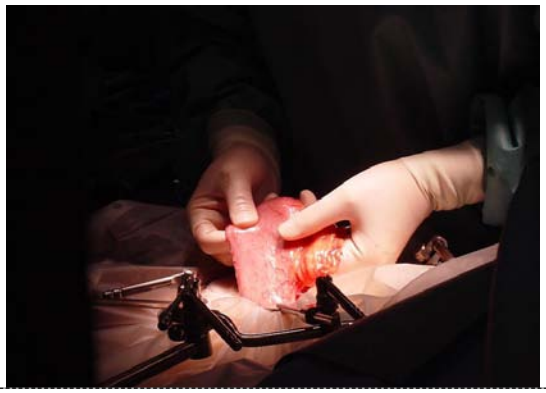
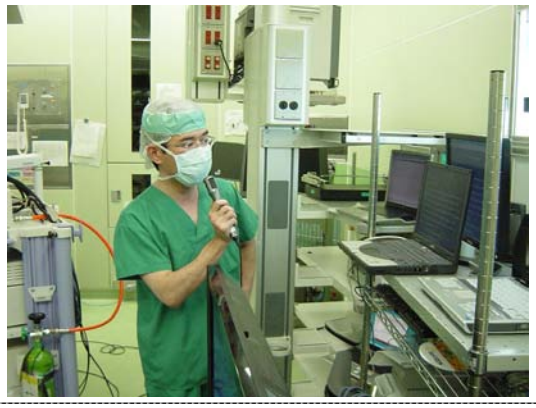
上海会場に映し出される4会場の様子。

撮影場所：上海交通大学第一人民病院

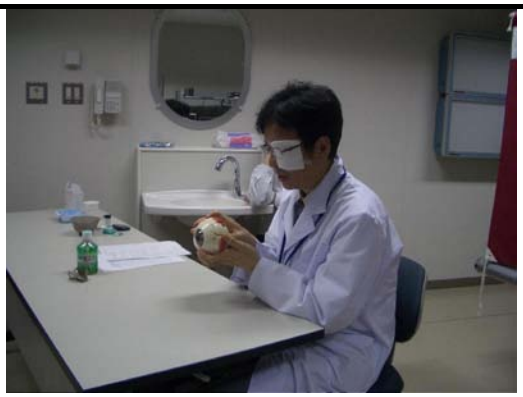
台北会場でのYang 医師とそのスタッフ。

撮影場所：台北栄民総病院

#100　上海ライブ：胃内視鏡手術　2007.6.22

【イベント名】上海ライブ：胃内視鏡手術 【期日】　2007. 6. 22 【会場】上海交通大学第一人民病院- 九州大学病院 -東京医科歯科大学- チュラロンコン大学	【概要】 上海内視鏡手術シンポジウムの第2日目には、九州大学から胃癌手術のライブ中継を配信した。東京医科歯科大学が初めて接続され、またチュラロンコン大学も外科のテレカンファレンスには初めて参加した。東京からは小嶋講師が遠隔講演を行った。
 モニターに映し出される4会場の様子。 撮影場所：九州大学病院	 小開腹創を通して行われる手術の様子。 撮影場所：九州大学病院
 解説する清水准教授とカメラを操作する寅田技師 撮影場所：九州大学病院	 永井講師による内視鏡手術の様子 撮影場所：九州大学病院
 症例提示とライブデモの進行を務める当間助教 撮影場所：九州大学病院	 上海会議で熱心に聞き入る参加者の様子 撮影場所：上海交通大学第一人民病院

#101　North 定例総会記念講演会　2007.12.11

<table>
<tr><td>【イベント名】
North定例総会記念講演会
【期日】　2007.7.19
【会場】
九州大学病院-札幌医科大学記念ホール</td><td>【概要】
疾病管理事業(カルナ)をテーマに、遠隔講演と遠隔での保健指導デモを行った。福岡会場から3D動画イメージ配信をライブで行い札幌会場で保健指導を遠隔で行った。</td></tr>
<tr><td>
</td><td>  </td></tr>
<tr><td>札幌会場に張られたプログラム
撮影場所:札幌医科大学記念ホール</td><td>中島医師が彼の目玉を使って講演をしている(冗談)。
撮影場所:九州大学病院</td></tr>
<tr><td>
</td><td>
</td></tr>
<tr><td>2つのDVカメラを組み合わせた3D画像ジェネレータ
撮影場所:九州大学病院</td><td>辰巳教授(右)が札幌会場で講演を行った
撮影場所:九州大学病院</td></tr>
<tr><td>
</td><td> </td></tr>
<tr><td>札幌会場での3D動画(右下)での講演
撮影場所:札幌医科大学記念ホール</td><td>医療デモをサポートする岡村准教授と大森氏
撮影場所:札幌医科大学記念ホール</td></tr>
</table>

#102　第 24 回 APAN 西安会議 – 津波テレカンファレンス 2007.8.29

【イベント名】第24回APAN西安会議
- 津波テレカンファレンス

【期日】　2007.8.29

【会場】　西安会場(中国) - チュラロンコン大学(タイ) - ERNET事務所（インド) - フロリダ国際大学（アメリカ)

【概要】
中国の西安で開催された第24回APAN(アジア太平洋先端ネットワーク会議)では4つのライブデモが行われた。SinghaのHinaにより企画された津波に関するテレカンファレンスでは、フロリダ国際大学が初めて接続され、インドとタイからの遠隔参加があった。

開会の挨拶をするHina

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

医療ワークショップ会場の様子。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

座長を務めるHian

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

後方から見た会場の様子。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

津波セッション会場の参加者の様子。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

ライブデモへ向けて準備をする技術スタッフ

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

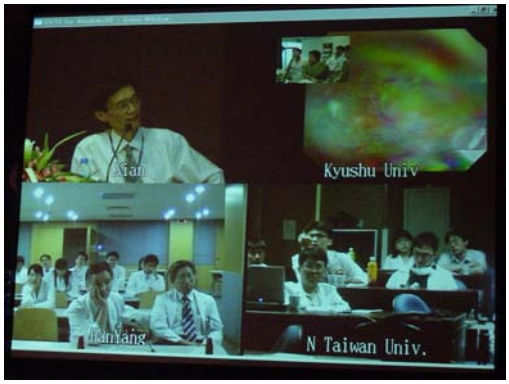
#103　第 24 回 APAN 西安会議 – ライブデモ（１）　2007.8.29

【イベント名】第24回APAN西安会議
- 内視鏡ライブデモンストレーション

【期日】　2006. 7. 20

【会場】西安会場（中国） - 九州大学（日本）- 第2赤十字病院（日本）- 漢陽大学（韓国）- 国立台湾大学（台湾）- マヒドン大学シリラ病院（タイ）- 九州大学（日本）- MYREN事務所（マレーシア）- エッペンドルフ大学病院（ドイツ）

【概要】
8箇所を繋いで、内視鏡のライブデモンストレーションが行われた。今回は初めてヨーロッパへも接続され、ドイツのハンブルグにあるエッペンドルフ大学病院が参加した。内視鏡は九州大学からESD（内視鏡的粘膜下剥離術）を、京都第2赤十字病院からはERCP（内視鏡的逆行性膵胆道造影術）を配信した。セキュリティーを用いた8箇所同時ライブの設定も今回が初めてである。



4画面表示がされたモニター

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

8箇所の接続地点からの画像をすべてモニターに表示

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

京都第2赤十字病院の会場風景

撮影場所：京都第2赤十字病院

シリラ病院（タイ）の会場へ集まった参加者

撮影場所：マヒドン大学シリラ病院

漢陽大学病院の会場風景（Dr Hahm, Dr Choi, Dr Lee）

撮影場所：漢陽大学病院の会場（韓国）

会場でデモをサポートする技術スタッフ

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

#104　第 24 回 APAN 西安会議 – ナーステレカンファレンス　　2007.8.30

【イベント名】第24回APAN西安会議
- 内視鏡ライブデモンストレーション

【期日】　2006.7.30

【会場】　西安会場（中国）
- 日本赤十字九州国際看護大学（日本）
- インドネシア大学（インドネシア）
- バックマイ病院（ベトナム）

【概要】
三重大学の櫻井教授により看護師のためのテレカンファレンスが、企画された。初めて接続された九州国際看護大学やバックマイ病院の他、インドネシア大学にも多くの参加者が集まった。それぞれの地点からの発表に続き多くの質問が出され、活発なディスカッションが行われた。

セッションの座長を務める櫻井教授

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

4地点の画像がモニターに映し出されている。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

西安のAPAN会場風景

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

正面には大きなモニターが設置されている。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

テレカンファレンスをサポートする技術スタッフ

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

技術スタッフは会場の隅に机を置いて、作業を進める。

撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）

#105　第 24 回 APAN 西安会議 – ライブデモ（２）　2007.8.30

<table>
<tr><td>【イベント名】第24回APAN西安会議
- 内視鏡手術ライブデモンストレーション
【期日】　2007.8.30
【会場】　西安会場（中国） - 高麗大学（韓国）- 東京医科歯科大学（日本）- シンガポール大学- フィリピン大学 - タタ記念病院（インド）- コンコルド病院（オーストラリア）- ボルドー第2大学（フランス）</td><td>【概要】
1日目の内視鏡のライブデモンストレーションに続き、２日目は韓国の高麗大学（術者：Dr SH Kim）より腹腔鏡下直腸切除術の様子が8カ国に配信された。今回初めて接続されたのは、高麗大学、コンコルド病院と、フランスのボルドー大学である。</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>ライブデモの座長を務めるDr Han HS</td><td>7箇所の接続地点がモニターに映し出されている。</td></tr>
<tr><td>撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）</td><td>撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>シンガポール大学の会場風景</td><td>インド会場で質問するDr Shukla</td></tr>
<tr><td>撮影場所：シンガポール大学</td><td>撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）</td></tr>
<tr><td colspan="2"> </td></tr>
<tr><td colspan="2">医療デモをサポートしたCSTNETの中国技術スタッフおよび日本人スタッフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">撮影場所：西安会場（シェラトンホテル）</td></tr>
</table>

#106　腎移植テレカンファレンス　2007.9.19

【イベント名】腎移植テレカンファレンス

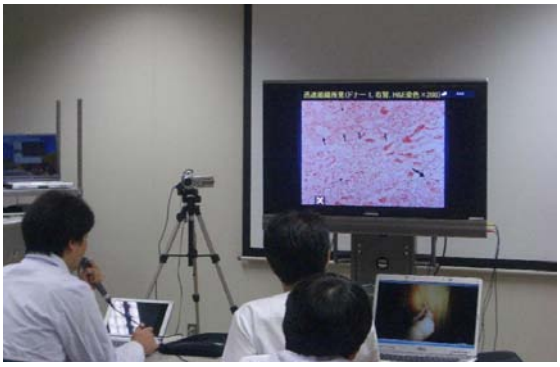
【期日】　2007. 9. 19

【会場】　九州大学病院（福岡）
- 豊見城中央病院（沖縄）

【概要】
沖縄の豊見城中央病院へネットワークが接続されたことを記念して、腎移植に関するテレカンファレンスが行われた。通常のスライドのみならず、移植腎の病理画像や摘出腎の内視鏡手術ビデオなどを提示しながら、興味深い会が催された。

テレカンファレンスをリードする座長の杉谷准教授

撮影場所：九州大学病院

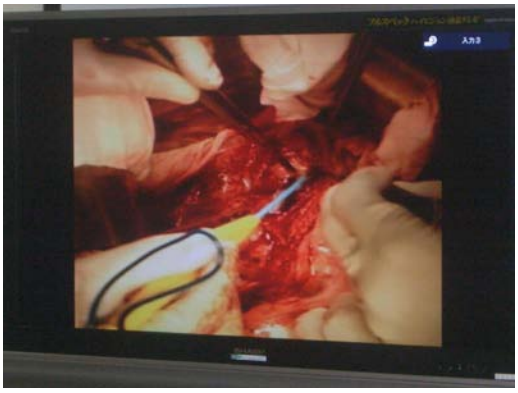


病理画像の説明を行う升谷助教

撮影場所：九州大学病院

沖縄では潮平副院長が対応

撮影場所：九州大学病院



液晶モニターに映し出された内視鏡手術の映像

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院でのカンファレンス風景

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院よりコメントを述べる杉谷准教授

撮影場所：九州大学病院

#107　第 7 回福岡内視鏡手術フォーラム　2007.9.21

【イベント名】
第7回福岡内視鏡手術フォーラム

【期日】　2007. 9. 21

【会場】　福岡アクロス（福岡）- 岩手医科大学（岩手）- 藤元早鈴病院（宮崎）- 豊見城中央病院（沖縄）

【概要】
第7回福岡内視鏡手術フォーラムが開催され、今年も約200名の看護師が集まった。昨年も参加した岩手医科大学や宮崎県都城市の藤元早鈴病院に加え、今年は沖縄の豊見城中央病院が初めてこの会に遠隔より参加した。

会場一杯の参加者

撮影場所：福岡アクロス

4地点の様子が映し出されるスクリーン

撮影場所：福岡アクロス

沖縄の豊見城中央病院のテレカンファレンス風景

撮影場所：豊見城中央病院

２つの大きなスクリーンを備える研究会会場

撮影場所：福岡アクロス

会場から質問する参加者

撮影場所：福岡アクロス

各地点でご協力をいただいたエンジニアの皆さん

撮影場所：福岡アクロス

#108 延世大学胃癌シンポジウム　2007.10.12

【イベント名】
延世大学胃癌シンポジウム

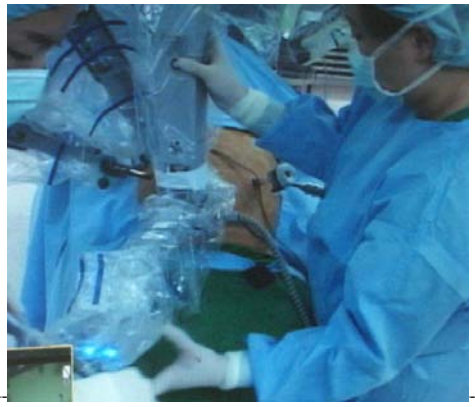
【期日】　2007.10.12

【会場】　延世大学病院（韓国）
－　九州大学病院（日本）

【概要】
延世大学で毎年行われている胃癌のシンポジウムが、今年はネットワークを使って九州大学病院にも配信された。手術は開腹手術の他、ロボットを使った幽門胃切除術が延世大学の大講堂にも流され、九州大学や手術室との間で議論する方で進められた。

メイン会場となった延世大学病院の大講堂

撮影場所：延世大学病院



ロボット設置するSong医師

撮影場所：延世大学病院

トロッカーを挿入された患者腹部の様子

撮影場所：延世大学病院

九州大学側に待機する永井講師とPiya医師

撮影場所：九州大学病院

ロボット手術の術者、Hyung WJ 医師

撮影場所：延世大学病院

モニターに映し出されるロボット手術の様子

撮影場所：九州大学病院

#109　内視鏡下肝臓切除術ライブデモンストレーション　　2007.10.23

【イベント名】
内視鏡下肝臓切除術ライブデモンストレーション

【期日】　2007.10.23

【会場】　九州大学病院
－　ソウル大学ブンダン病院

【概要】
九州大学病院とソウル大学ブンダン病院との間で再び内視鏡的な肝切除術のライブデモが行われた。九州大学側には、カザフスタンのDr Aibek、 スリランカのDr Chandika、タイのThitipong、韓国のDr Songの他、東京からも見学者があり、国際色豊かな会となった。

いろいろな国からの参加者があり、多くの質問が出された。

撮影場所：九州大学病院

手術室から日本へ向けて挨拶するDr Han HS

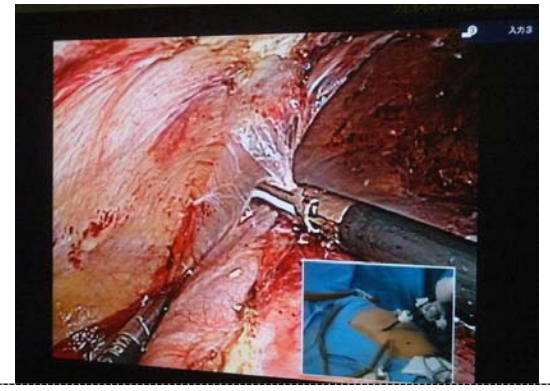
撮影場所：ソウル大学ブンダン病院

九州大学病院カンファレンス室の風景

撮影場所：九州大学病院

質問する韓国インハ大学のDr Song（産婦人科）

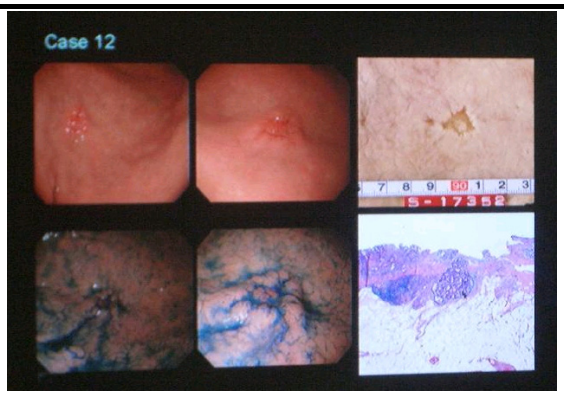
撮影場所：九州大学病院



モニターに映し出される手術映像

撮影場所：九州大学病院

#110　第１回 早期胃癌テレカンファレンス　2006.10.26

【イベント名】 第1回 早期胃癌テレカンファレンス 【期日】　2007.10.26 【会場】　九州大学病院 - マヒドン大学シリラ病院	【概要】 日韓を除くアジア地域では依然として早期胃癌の発見率が低く、進行癌でみつかるために治療できず失われる命も多い。今回、日本とタイの間で早期胃癌に関するテレカンファレンスを開始し、今後定期的に多くのドクターと共に早期胃癌の診断方法について討論する。
座長を務める矢田助教 撮影場所：九州大学病院	九州大学病院のテレカンファレンス風景 撮影場所：九州大学病院
	
提示された早期胃癌の内視鏡増と病理所見 撮影場所：九州大学病院	プレゼンテーションを行う板場医師 撮影場所：九州大学病院
タイからの研修医師（Dr PiyaとDr Thitipong）ら 撮影場所：九州大学病院	マヒドン大学側の技術スタッフ 撮影場所：マヒドン大学シリラ病院

#111　第 6 回胆膵臨床病理テレカンファレンス　　2007.11.15

【イベント名】
第6回胆膵臨床病理テレカンファレンス

【期日】　2007. 11. 15

【会場】　九州大学病院
– ソウル大学ブンダン病院

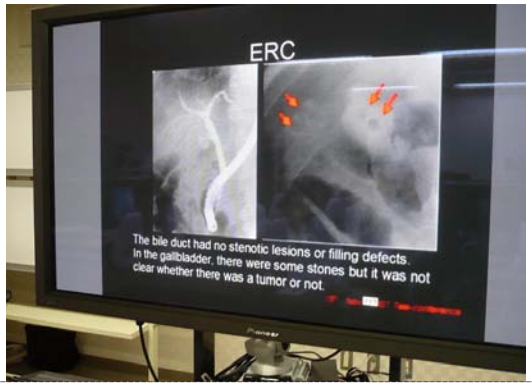
【概要】
ソウル大学ブンダン病院と九州大学病院との間で、第6回目の胆膵臨床病理テレカンファレンスが行われた。それぞれ一例の症例について、術前画像、手術適応、手術所見、術後病理診断などを提示し、それぞれ質問やコメントを出しながらディスカッションを行った。

ERCPについて説明する家永医師

撮影場所：九州大学病院

モニターに写るブンダン病院のDr Hanとそのスタッフ

撮影場所：九州大学病院



ERCP画像が提示され、ディスカッションが行われた

撮影場所：九州大学病院

コメントを述べる中村准教授

撮影場所：九州大学病院

機器を調整しながらテレカンファレンスをサポートする寅田技師

撮影場所：九州大学病院

#112　第 13 回地域医療連携センター講演会　2007.11.20

【イベント名】第13回地域医療連携センター講演会

【期日】　2007. 11. 20

【会場】　九州大学病院
－ 大分大学医学部附属病院

【概要】
大分大学医学部附属病院とはじめてつなぎ、地域医療連携に関するカンファレンスを行った。本イベントは両院の地域医療連携センターに協力をいただいた。両会場合わせて300人を越える参加者があった。

吉良副病院長（地域医療連携センター長）

撮影場所：九州大学病院

カンファレンスの様子

撮影場所：九州大学病院

聴衆で混雑するライブ手術会場

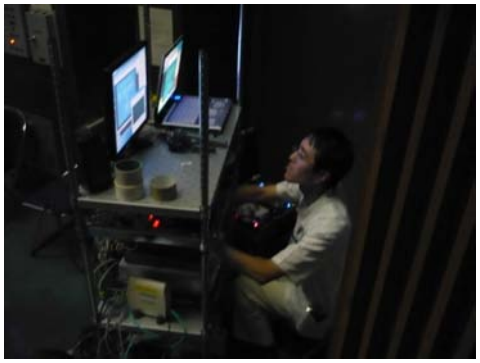
撮影場所：九州大学病院

大分会場も多くの人が参加した

撮影場所：大分大学医学部附属病院

講演会に聞き入る参加者

撮影場所：大分大学医学部附属病院



機器操作を行うエンジニア（寅田）

撮影場所：九州大学病院

#113　胸腔鏡下手術テレカンファレンス　2007.11.27

【イベント名】胸腔鏡下手術テレカンファレンス

【期日】　2007. 11. 27

【会場】　九州大学病院
- 福岡大学
- シンガポール大学

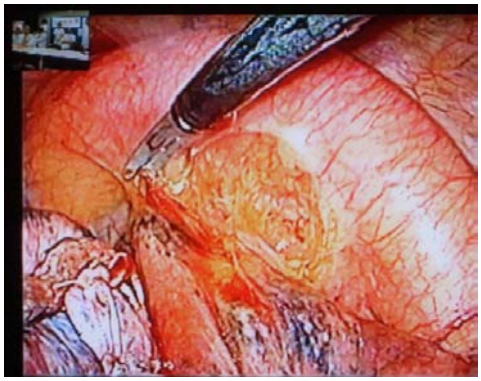
【概要】
胸腔鏡下手術をテーマにしたテレカンファレンスが初めて行われた。福岡大学がDVTSを使って初めて接続された会でもあり、九州大学病院とシンガポール大学との3箇所でプレゼンテーションを行った。福岡大学からの映像も比較的良好であった。

カンファレンスの始まりに向けて待機するスタッフ

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院のカンファレンス室風景

撮影場所：九州大学病院



手術映像が福岡大学から提示された。

撮影場所：九州大学病院

清水准教授とアイベック医師が九州大学より参加

撮影場所：マヒドン大学シリラ病院

送信される手術画像を見る九州大学スタッフ

撮影場所：マヒドン大学シリラ病院

各3地点のエンジニアスタッフ

撮影場所：マヒドン大学シリラ病院

#114　アジア遠隔医療テレカンファレンス　　2007.12.7

【イベント名】
アジア遠隔医療テレカンファレンス

【期日】　2007. 12. 7

【会場】－ 九州大学病院（日本）－ソウル大学ブンダン病院（韓国）－シンガポール大学－フリンダー大学病院（オーストラリア）

【概要】
アジア遠隔医療シンポジウムが12月7日と8日の2日間行われ、8カ国より150名の参加者があった。1日目にはシンポジウム会場と韓国、シンガポール、オーストラリアを接続し、DVTSを用いた遠隔医療カンファレンスのデモンストレーションを行った。

百年講堂のシンポジウム会場風景

撮影場所：九州大学病院

来賓の岩瀬氏と柳原副学長および水田病院長

撮影場所：九州大学病院

2日目の会場（コラボレーションセンター）前でポーズを取る参加者たち

撮影場所：九州大学病院

専用ブースからは同時通訳が行われた

撮影場所：九州大学病院

デモンストレーションをサポートした各地点のスタッフ

撮影場所：九州大学病院

#115　第２回　慶尚大学とのテレカンファレンス　2007.12.11

【イベント名】
第2回　慶尚大学とのテレカンファレンス

【期日】　2007.12.11

【会場】
九州大学病院（日本）- 慶尚大学病院（韓国）

【概要】
第2回慶尚大学−九州大学病院テレカンファレンスが、慶尚大学使節が九州を訪問したタイミングで行われた。同年11月に晋州（慶尚大学）を訪れた九大病院側使節団も参加した。

日本側使節団の団長の林純教授による挨拶

撮影場所：九州大学病院

Hee Suk Shin教授（慶尚大学病院副院長）が使節団長

撮影場所：九州大学病院

韓国からの映像を含めたカンファレンス風景

撮影場所：九州大学病院

韓国と日本でのオンラインディスカッション風景

撮影場所：九州大学病院

看護師も議論に参加した

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院会場の全参加者風景

撮影場所：九州大学病院

#116　イタリア健康科学コミュニティー会議：医療デモンストレーション 2007.12.12

【イベント名】イタリア健康科学コミュニティー会議：医療デモンストレーション

【期日】　2007.12.12

【会場】
- 九州大学病院（日本）
- ローマ第3大学（イタリア）

【概要】
イタリアの学術ネットワーク組織GARRが主催した医療に関するシンポジウム。この会で行われたデモンストレーションには、九州大学病院からモデルを使った内視鏡検査の様子と録画映像を用いた手術画像を提示した。初めて接続されたイタリアへ、鮮明な動画像が送信された。

日本より送信された内視鏡画像がスクリーンに描写

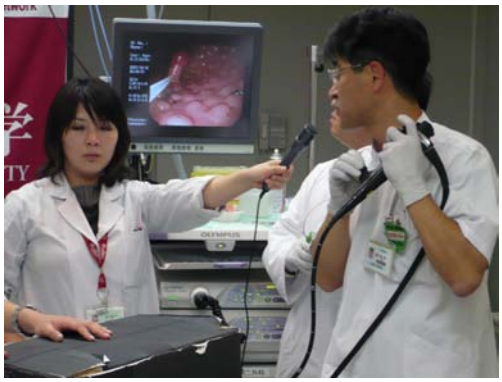
撮影場所：シンポジウム会場（第3ローマ大学）

待機する九州大学病院スタッフ

撮影場所：九州大学病院

内視鏡のモデルについて説明する矢田助教

撮影場所：九州大学病院



実際に内視鏡を操作する矢田医師

撮影場所：九州大学病院

手術映像を提示し説明を加える田邊医師

撮影場所：九州大学病院

使用器材について説明する寅田技師

撮影場所：九州大学病院

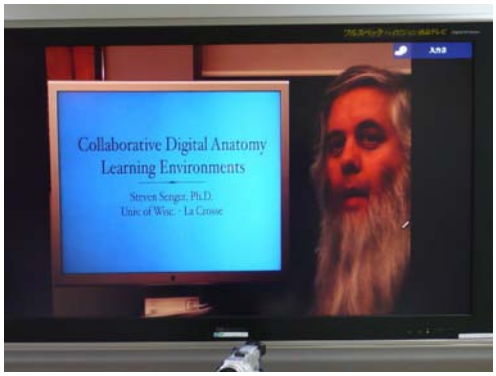
#117　第 25 回 APAN 会議 – ライブデモ　2008.1.23

【イベント名】第25回 APAN 会議 - ロボット手術と内視鏡のライブデモ 【期日】　2008.1.23 【会場】　ハワイ会場- 九州大学病院（日本） - 延世大学 （韓国）- 上海交通大学第一病院（中国） - カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）- ノースショア病院（オーストラリア）	【概要】 第26回のAPANはInternet2と合同で、ハワイ大学で開催された。延世大学からのロボット手術と九州大学からの内視鏡のデモンストレーションでは、カリフォルニアのアーバイン校が初めてDVTSで接続された。シドニーのノースショア病院は残念ながら準備が間に合わず、ポリコムでの参加となった。
今回のシステムについて説明する岡村准教授	内視鏡を施行する吉永医師とそれを解説する矢田助教
撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	撮影場所：九州大学病院
５箇所の接続地点がモニター上に配置	左に内視鏡画像、右に手術画像と3つの接続地点
撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	撮影場所：九州大学病院
インドネシア大学の会場風景	九州大学ではカザフスタンとエジプトの医師も参加
撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	撮影場所：九州大学病院

#118　第 25 回 APAN 会議 – ヘルスケアテレカンファレンス（１）　2008.1.24

【イベント名】第23回 APAN 会議 - ヘルスケアテレカンファレンス（１） 【期日】　2008.1.24 【会場】　ハワイ会場 - 九州大学病院（日本）- 忠北国立大学（韓国） - スタンフォード大学（アメリカ）	【概要】 ヘルスケアのセッションではまず4地点を接続して、テレカンファレンスが行われた。忠北大学はAPANの活動には初めて参加した。それぞれの地点からプレゼンテーションを行い、それについての討議が行われた。
座長を務めるYS Lee教授と櫻井教授 撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	ハワイ会場の様子 撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）
4会場の映像がスクリーンに映し出されている 撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	セッション前にこれまでの活動を説明する清水准教授 撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）
2つのスクリーンが並べられた医療セッションの会場 撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）	スタンフォード大学のモニターでも4地点を表示 撮影場所：スタンフォード大学

#119　第 25 回 APAN 会議 – ヘルスケアテレカンファレンス（２）　2008.1.24

【イベント名】第23回 APAN 会議 - ヘルスケアテレカンファレンス（２）	【概要】 もう一つのヘルスケアのセッションではさらにムンバイ、ウィスコンシン、メルボルンが参加し、7地点を結んで医療教育に関するディスカッションが行われた。ウィスコンシンとメルボルンの施設は、APANの活動には初参加である。
【期日】　2008.1.24	
【会場】ハワイ会場 - 九州大学病院（日本）- 忠北国立大学（韓国） - ERNET事務所（インド）-スタンフォード大学（アメリカ）-ウィスコンシン大学（アメリカ）-MedicVision（オーストラリア）	
ハワイ会場のテレカンファレンス風景、裏は日本庭園	スクリーンには７地点の様子が映し出されている
撮影場所ハワイ大学（APAN会場）	撮影場所：九州大学病院
メルボルン会場には2名が参加	九州大学からプレゼンテーションを行う中島講師
撮影場所：MedicVison 事務所（メルボルン会場）	撮影場所：九州大学病院
	
ウィスコンシン会場からの様子を映し出すモニター	医療デモをサポートする岡村准教授と大森氏
撮影場所：九州大学病院	撮影場所：ハワイ大学（APAN会場）

#120　第２回 早期胃癌テレカンファレンス　2008.2. 22

【イベント名】
第2回 早期胃癌テレカンファレンス

【期日】　2008. 2. 22

【会場】　九州大学病院
- マヒドン大学シリラ病院

【概要】
日本とタイの間で行われた第２回目の早期胃癌に関するテレカンファレンス。前回と同様に、内視鏡画像を使い、正しい診断方法について討議した。第３回目は九大とシリラの２施設以外にも参加を打診することで話がまとまった。

シリラ病院のドクターが内視鏡診断を試みる。

撮影場所：九州大学病院

九州大学病院のテレカンファレンス風景

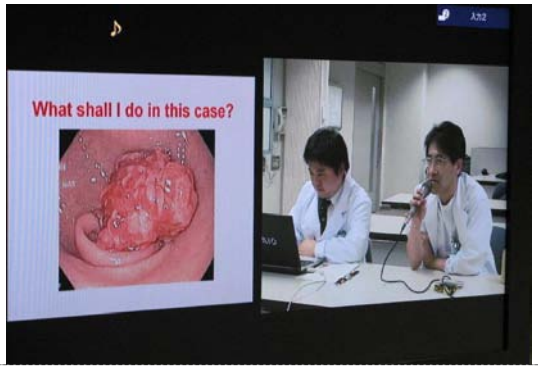
撮影場所：九州大学病院

シリラ病院と九大病院が同時にモニターに描出される。

撮影場所：九州大学病院

内視鏡所見を述べるシリラ病院の医師。

撮影場所：九州大学病院



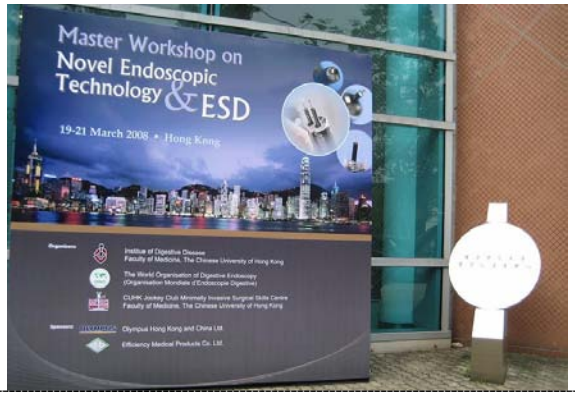
九大病院から内視鏡に関する問題を出す矢田医師。

撮影場所：九州大学病院

九大病院で使用した機器。

撮影場所：九州大学病院

#121　世界内視鏡学会共催の香港内視鏡ワークショップ　2008.3.19

【イベント名】内視鏡的粘膜下剥離術に関するライブデモンストレーション 【期日】　2008.3.19 【会場】　九州大学病院 - 香港中文大学病院	【概要】 世界内視鏡学会（OMED）共催の消化器内視鏡ワークショップが香港で開催された。会場からのデモンストレーションと同時に九大病院からもESDのデモンストレーションが香港会場へ中継された。画像の質も良好で、内容の濃い議論が交わされた。
	
香港会場に準備されたワークショップのポスター 撮影場所：香港中文大学病院	Dr中村の解説で内視鏡のデモを行なうDr吉永 撮影場所：九州大学病院
九大側のモニターに写る内視鏡画像と会場の様子 撮影場所：九州大学病院	香港会場の座長を務めるDr Ng とDr Sung 撮影場所：香港中文大学病院
広い会場で九大からのライブを見つめる参加者 撮影場所：香港中文大学病院	九大病院内視鏡室に準備された機器類。 撮影場所：九州大学病院